



タイ クルンテープ・アピワット中央駅周辺

海外展開支援

海を越えて都市開発をサポート。
国内で培ったノウハウで、
新興国等の社会課題解決に貢献する。

深刻な交通渋滞や人口急増による居住環境悪化等、多くの国が、かつて日本が経験した課題に直面しています。URは、国内で培った都市開発のノウハウを活かし、これらの国が抱える都市課題の解消に取り組んでいます。公的機関としての公平・中立な立場を活かし、国内外の政府関係機関や民間事業者と連携しながら、日本企業の海外の都市開発への参画を支援するとともに、海外における都市開発をサポート。海を越えて、社会課題の解決に貢献します。

オーストラリア シドニー郊外及びメルボルン周辺の都市開発

オーストラリアでは、人口増加に伴う住宅不足への対応や、持続的な経済成長を支える新たな都市開発が必要とされています。ニューサウスウェールズ州では、シドニー郊外において新しい空港整備と合わせた新都市開発が進行、ビクトリア州では、メルボルン周辺における都市開発プロジェクトが進められています。URは、それぞれの州政府と覚書を締結、計画づくりへの技術協力を行うとともに日豪企業のネットワークを進め、日本企業の進出を支援しています。



シドニーで開催した日豪ネットワークイベント

タイ クルンテープ・アピワット中央駅周辺の都市開発

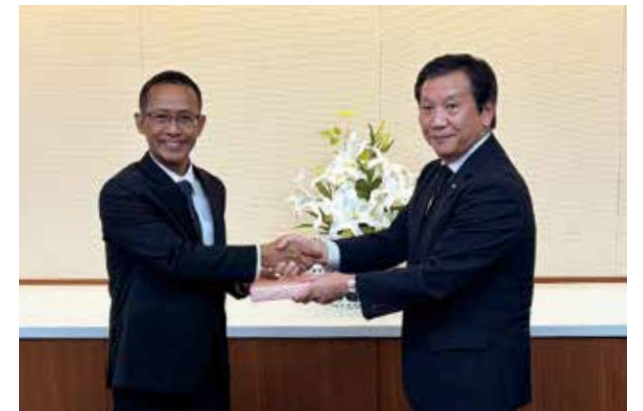
バンコク中心部から約10km北部のクルンテープ・アピワット中央駅は、首都バンコクの新しい玄関口として2021年に開業。しかし、駅前には操車場、更地等の低未利用地が広がり、タイ政府は国家プロジェクトとして、この地区をバンコクの一交通結節点にふさわしいスマートシティにすることを目指しています。URは大規模な都市開発の経験やノウハウと、日本企業の技術で、タイ政府やタイ国有鉄道等による計画づくりを支援、事業の実現に向けたアドバイスをしています。



タイ政府に提案したリーディングプロジェクト計画案のイメージパース

インドネシア ジャカルタTOD支援

ジャカルタ首都圏の人口は3,000万人を超え、人口増による交通渋滞とそれに伴う大気汚染が深刻な社会課題となっており、公共交通と都市開発をセットで行う公共交通指向型開発(TOD)の推進が、喫緊の課題となっています。URは、日本で一般的に行われている鉄道駅を中心としたまちづくりのノウハウを活かし、ジャカルタ首都圏のTODを進めるジャカルタ都市高速鉄道公社(MRTJ)等への支援を通じ、交通渋滞等の社会課題解決を目指しています。



MRTJトウヒヤット社長の表敬訪問を受けるUR石田理事長

URが海外展開支援に取り組む主な国

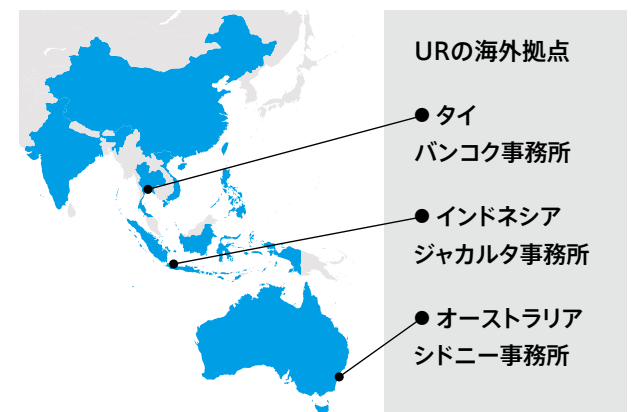


海外からの研修・視察の受け入れ

URは、世界各国からの要請に応じ、日本で積み重ねてきたまちづくりに関する研修や視察を受け入れています。

1998年以降受け入れ実績

147か国・地域 **27,954**名受入 (2024年3月末現在)



URの海外拠点

●タイ
バンコク事務所

●インドネシア
ジャカルタ事務所

●オーストラリア
シドニー事務所